

2021年度 全道研究大会 開催要綱

【大会テーマ】 コロナ禍における地域福祉 ～地域活動を担う住民への影響～

2020年1月に我が国最初の感染が確認されてから2年が経過しました。この間、感染拡大防止の観点から、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に自粛を求められるなど、地域を構成する全ての人の生活と暮らしに大きな影響を及ぼし、更に深刻さを増してその影響が継続しています。

一方、この間、全世帯を対象とした定額給付金や事業者への持続化給付金などの給付事業や、生活困窮者に対する生活福祉資金の特例貸付、更には各種助成団体等による支援活動への金銭的支援等様々な支援策が講じられていますが、生活と暮らしへの深刻な影響の改善には至っていないのが現実ではないでしょうか。

当学会では今なお続く新型コロナウイルスの感染下において、「地域福祉」にどのような影響をもたらしているのか、その実態を多面的に捉えるため、「コロナ禍における地域福祉」を本年度の研究テーマとし、本大会では地域福祉活動の主体である住民個々への影響を実践から捉え、今後の地域福祉活動のあり方について議論を深めることにしました。

1. 主 催 北海道地域福祉学会
2. 共 催 日本地域福祉学会北海道部会
3. 後 援 社会福祉法人北海道社会福祉協議会（予定）、一般社団法人 Wellbe Design
4. と き 2022年1月22日（土）
5. と ころ COVID-19感染拡大予防のため、Zoomを利用したオンライン開催とします
6. 内 容 全道研究大会プログラム（別紙1）のとおり
【基調講演】コロナ禍における生活困窮の実相
松岡 是伸 氏（北星学園大学社会福祉学部准教授/本学会副会長）
【シンポジウム】コロナ禍で顕在化される困窮問題～住民の諸課題に取組む地域福祉活動から～
話題提供者
① 経済的な困窮 櫻井 耕平 氏（江別市社会福祉協議会）
② 生活用品の困窮 下川 美紀 氏（新ひだか町社会福祉協議会）
③ つながりの困窮 小笠原 志朗 氏（名寄市社会福祉協議会）
④ 医療・ケアへのアクセスの困窮 運上 昌洋 氏（有限会社アット/本学会理事）
⑤ 支援者が抱えるこころの困窮 坂本 大輔 氏（北海道の特例貸付担当社協職員
の声をつむぐ会/登別市社会福祉協議会）
コーディネーター 篠原 辰二（一般社団法人 Wellbe Design/本学会理事）
コメンテーター 松岡 是伸（北星学園大学社会福祉学部准教授/本学会副会長）

7. 参加定員 100 名（定員を超えた場合は先着順にお受けいたします。）
8. 参加費 会員：500 円、非会員：1,000 円、学生（院生除）：無料
※ 会員区分は「北海道地域福祉学会員」若しくは「北海道在住の日本地域福祉学会員」となります。
9. 参加申込 1 月 17 日（月）までに Peatix（外部イベントサイト）から、お申込みください。利用方法がわからない方、複数人同時申し込み、請求書が必要な方は下記メールアドレスまでお問い合わせください。なお、自由研究・実践活動発表を希望される方は、募集要項を確認の上、Peatix より 12 月 28 日（火）までにお申し込みください。
10. 支払方法 参加費は、参加申込みに合わせ、Peatix（外部イベントサイト）よりお支払いください。クレジットカードの他、コンビニ支払（手数料は参加者負担）も可能になります。
11. 留意事項 本研究大会の参加にあたっては、以下の事項に同意したとさせていただきますので、必ずご確認ください。
- ① 参加には、Zoom ミーティングクライアントのインストールが必要です。Zoom 公式ホームページ (<https://zoom.us>) 最下部のダウンロードより「ミーティングクライアント」をクリックしてください。
 - ② 万一、オンライン大会に際してトラブル等が生じた場合は、学会ではその責任を負いません。特に、著作権、肖像権、個人情報等の取扱いには十分ご注意ください。
 - ③ 当日の様子や資料は画面を含め、撮影・録画・録音・複製、SNS への投稿はお控えください。
 - ④ セキュリティを守るため、参加申し込み者が得られた Zoom の ID やパスワードを漏洩させないよう、十分ご注意ください。
 - ⑤ 当学会では、コンピュータの操作、インターネット接続、映像・音声等の技術的サポートやお問い合わせ、トラブルの対応はできません。
 - ⑥ 参加にあたっては、接続機器のカメラ及びマイク機能は不要ですが、機器設備や通信料等、別途発生する費用については各自ご負担ください。
 - ⑦ 通信上の問題により発生した音声及び画像の途絶があった場合においても、参加費の返金等はできかねます。
 - ⑧ Zoom での参加の方法など、より詳細な案内や注意事項は、事前にインターネット等で検索するなど、各自対応をお願いします。
 - ⑨ 本大会は、新型コロナウイルスの感染拡大等、社会情勢によっては中止もありうることをご承知おきください。
12. 事務局 北海道地域福祉学会事務局
〒004-0022 札幌市厚別区厚別南 2 丁目 7 番 28 号
一般社団法人 Wellbe Design 内
TEL：011-801-7450 FAX：011-801-7451 E-mail：info@hacd.jp

全道研究大会 プログラム

時間	内容
09:30～10:00	Zoom 開設・第1部チェックイン
10:00～12:00	第1部：自由研究・実践活動発表 ※研究発表募集要綱（別紙2）により、学会員の研究発表を募集します。
12:00～13:00	休憩・第2部チェックイン
13:00～13:35	第2部：第4回地域福祉優秀実践賞授賞式 ・光生舎ゆいま～る・もみじ台 様
13:35～13:45	開会・趣旨説明
13:45～14:50	第3部：基調講演 コロナ禍における生活困窮の実相 松岡 是伸 氏（北星学園大学社会福祉学部准教授/本学会副会長） コロナ禍において我々は、集う、語らう関係性が断ち切れ、福祉の担い手が主としてきた“出会う”支援は、感染というリスクに晒された。一方で地域関係も感染リスクから生じる恐怖・不安、さらには差別、偏見、スティグマに至る場合もみられた。このようななかで個々人の生活困窮は深まっていったとえよう。そこで本講演では、コロナ禍による生活困窮を“個々人の生活”と、それを規定しうる“地域”という観点から実相に迫っていききたい。また必要とされる生活支援（生活保障）についても考えていきたい。
14:50～15:00	休憩
15:00～16:45	第4部：シンポジウム 地域で発生する“困窮”～地域活動を担う住民への影響～ ・話題提供者 ① 経済的な困窮 櫻井 耕平 氏（江別市社会福祉協議会） ② 生活用品の困窮 下川 美紀 氏（新ひだか町社会福祉協議会） ③ つながりの困窮 小笠原 志朗 氏（名寄市社会福祉協議会） ④ 医療・ケアへのアクセスの困窮 運上 昌洋 氏（有限会社アット/本学会理事） ⑤ 支援者が抱えるこころの困窮 坂本 大輔 氏（北海道の特例貸付担当者教職員の声をつむぐ会/登別市社会福祉協議会） ・コーディネーター 篠原 辰二 氏（一般社団法人 Wellbe Design 理事長/本学会理事） ・コメンテーター 松岡 是伸 氏（北星学園大学社会福祉学部准教授/本学会副会長）
16:45～17:00	閉会

自由研究・実践活動発表 募集要綱

1. 発表条件

自由研究発表・実践活動発表は、北海道地域福祉学会員の資格が必要です（発表申し込み時点で会費の滞納がない者）。ただし共同研究の場合、連名者は非学会員でもかまいません。なお、非会員の方でも、研究発表の応募とあわせて入会申し込みを行い、所定の手続きにより入会の承認が得られた場合は発表が可能となります。

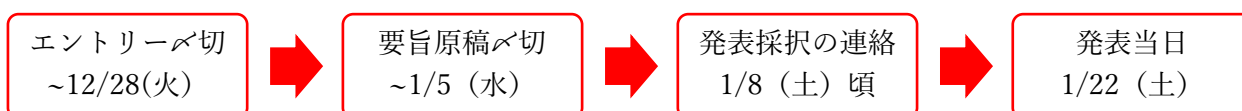
2. 申込方法

参加申し込みにあわせ、Peatix より 12 月 28 日（火）までにお申し込みください。自由研究発表・実践活動発表の採択（発表可否及び発表順等）は理事者において決定され、1 月 8 日（土）を予定に当学会ホームページ上で発表採択のご連絡をいたします。

3. 発表要領

- (1) 分野：発表する分野は、「自由研究発表」と「実践活動発表」に分かれており、分野を選んでエントリーすることができます。
 - 1) 自由研究発表：日頃の研究をまとめ発表する。（①研究の目的、②研究の方法、③研究の結果、④考察という基本的な枠組みを示した発表資料を作成ください。）
 - 2) 実践活動発表：日頃の現場での実践活動をまとめ発表する。
- (2) 原稿：発表要旨をまとめた原稿（参加者に事前に提供するもの）を 1 月 5 日（水）までに提出してください。
- (3) 時間：発表時間は 20 分（発表時間 15 分、質疑応答時間 5 分）とします。
- (4) 発表：発表時には Zoom の画面共有を用いて発表データを使用することができます。

4. エントリーから発表までのスケジュール



5. 留意事項

エントリーした場合、以下のことに同意したものとさせていただきます。

- (1) 発表に際してトラブル等が生じた場合は、学会ではその責任を負いません。特に、提示するスライド内等での、著作権、肖像権、個人情報等の取扱いには十分ご注意ください。
- (2) 発表に際し、学会では、コンピュータの操作、インターネット接続、映像・音声等のトラブルの対応はできません。サポーターは待機しておりますが、ご自身での解決をお願いします。
- (3) 発表にあたっては、接続機器のカメラ及びマイク機能が必要となります。本大会の参加費は無料ですが、それらの機器設備や通信料等、別途発生する諸費用については各自ご負担ください。
- (4) 以上の留意事項をご理解いただいたうえで、自由研究・実践活動発表を希望される方は、Peatix からお申し込みください。